

第1回摂食指導研修会を実施しました

歯科医師の千木良あき子先生に、事前に撮影しておいた映像を見ていただいたり、実際の給食の場面を見ていただいたりしながら御指導をいただきました。



食形態をかえるときは、一品ずつなど少しずつ変えていくといいですね。

摂食指導学習会を実施しました

千木良先生に教えていただいた内容を、日々の指導に生かせるように情報を共有する学習会を行いました。

“食べ始めたのが遅い場合、指しゃぶりやおっぱいを吸うなど食事をする事へのウォーミングアップを経験していない場合があるので、ゆっくりしたペースで段階を踏んでいくことを容認することが大切”

“硬いものを刻み食にするより、自分でかじりとれるもので一口分がわかり、噛んで飲み込めるほうがいい”

“こぼさないようにおかずをご飯の上のせて食べていると、かき込み癖がついてしまうことがある。スプーンやフォークを使って食事ができるのであれば、ご飯とおかずはそれぞれスプーンで適量をすくって食べられるように支援したり、フォークで刺しにくいときに手を添えて食べやすいように支援したりするほうがよい”



など、大切なポイントをたくさん学ぶことができました。